

令和 2 年度
事業報告書

2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日

社会福祉法人
筑前町社会福祉協議会

令和2年度 筑前町社会福祉協議会事業報告

■ 総括的概要

社協は、民間組織であり住民参加による組織運営が求められています。そこで理事会、評議員会の開催をはじめ、住民のニーズが反映できる組織体制の強化を目指し、公共性の高い民間組織となるよう効率化・適正化を図るとともに、事業運営の透明性の向上に努めました。

1. 法人運営

(1) 法人運営事業

① 会議の開催

名 称	期 日	内 容
監査会	5月12日(火)	・令和元年度決算監査
第1回理事会	6月4日(木)	・会長の職務執行状況報告 ・評議員選任・解任委員の選任 ・評議員候補者の推薦 ・評議員選任・解任委員会の招集 ・役員候補者の推薦 ・令和元年度事業報告の承認 ・令和元年度収支決算書、財産目録及び貸借対照表の承認 ・監査報告 ・定時評議員会の招集
評議員選任・解任委員会	6月12日(金)	・評議員の選任
第1回評議員会	6月22日(月)	・評議員の就任 ・役員を選任 ・令和元年度事業報告の承認について ・令和元年度収支決算書、財産目録及び貸借対照表の承認 ・監査報告
監 査	12月9日(水)	・令和2年度前期監査
第1回役員選考委員会	1月28日(木)	・役員・評議員の選考

第2回役員選考委員会	1月25日(月)	・役員・評議員の選考
第3回役員選考委員会	2月22日(月)	・役員・評議員の選考
第2回理事会	3月19日(金)	・会長の職務執行状況報告 ・役員・評議員選考委員会の報告 ・専決事項(事務局規程の改正)の報告 ・住民参加型有償生活支援サービス事業の要綱の報告 ・役員等内相責任保険契約の承認 ・経理規程の一部改正の承認 ・就業規則の一部改正の承認 ・令和2年度第1次補正予算の承認 ・令和3年度事業計画の承認 ・令和3年度予算の承認
第2回評議員会	3月22日(月)	・評議員の招集 ・役員・評議員選考委員会の報告 ・専決事項(事務局規程の改正)の報告 ・住民参加型有償生活支援サービス事業の要綱の報告 ・役員等内相責任保険契約の承認 ・経理規程の一部改正の承認 ・就業規則の一部改正の承認 ・令和2年度第1次補正予算の承認 ・令和3年度事業計画の承認 ・令和3年度予算の承認

(2) 組織運営及び機能強化

① 財務運営管理

適正な財務管理に努めました。

② 個人情報保護法への対応

個人情報の守秘義務の認識及び漏えい防止体制を確立しました。

(3) 役職員の資質の向上

総務・総合相談

日常生活自立支援事業専門員業務説明会	7月1日(水)
障害支援事業所集団指導	7月2日(木)
朝倉地区障害者等自立支援協議会 運営部会	2月17日(水)
福岡県障害支援区分認定調査員研修 現任者向け	11月25日(水)
成年後見制度利用促進基礎研修会	7月30日(木)
日常生活自立支援事業	8月17日(月)
生活支援員研修会(初任者編)	
日常生活自立支援事業専門員研修会Ⅰ	8月28日(金)
人権相談従事職員研修	9月16日(水)・17日(木)
権利擁護のための取組拡充研修会	9月24日(木)
福岡県ひきこもり支援者及びひきこもり 支援者ネットワーク会議	1月22日(金)
筑前町自殺対策ネットワーク会議	3月19日(金)

地域福祉

両筑地区社協連絡会地域福祉部会	7月27日(月)・9月23日(水) 12月7日(月)・3月24日(水)
両筑地区ボランティア担当者意見交換会	11月27日(金)
県生活支援コーディネーター連絡会	7月27日(月)
生活支援コーディネーター初任者研修	9月25日(金)
県社協主催新任職員研修	7月31日(金)
県地職連主催新任職員研修会	9月10日(木)
県地職連主催職員研修会	11月12日(木)
県地職連主催中堅社協職員研修会	12月6日(日)

(4) 事務局体制の整備

人権啓発指導者セミナー	7月8日(水)
両筑地区社協連絡会	

・会長・事務局長会	7月29日（水）
・事務局長会	10月29日（木）・3月24日（水）

（5）地域福祉活動計画の策定

町の第3次地域福祉計画と一体作成で全5回の策定委員会を経て令和3年3月に完成しました。

① 地域福祉（活動）計画策定委員会の実施

- ・第1回 9月23日（水） 会長、副会長の選任、計画策定の趣旨説明
- ・第2回 10月27日（火） アンケート調査結果報告、計画骨子、基本理念の検討
- ・第3回 1月26日（火） 計画案の協議
- ・第4回 2月24日（水） 計画案の協議
- ・第5回 3月16日（火） パブリックコメントの内容確認、最終案の協議

（6）広報活動の推進（広報・ホームページ）

社協の事業や地域における福祉活動を広く町民に情報発信し、福祉事業への理解と支援を得られるよう努めました。

① 広報誌発行

- ・「ちくぜん社協だより」「声の社協だより」4回発行

（5月、8月、10月、1月）

② 町発行広報誌「広報ちくぜん」による広報・情報提供を行いました。

③ ホームページに福祉情報を掲載しました。

2. 社会福祉事業

（1）独自事業

① 心配ごと相談事業

日常的に住民が抱える悩みや困りごとなどを相談する窓口として開設し、相談員が助言を行いました。また、無料弁護士相談や専門的に相談できる機関を紹介し問題解決の手助けを行いました。

- ・毎月第1、第3金曜日に相談日開設

相談員	行政相談委員 2人	調停相談員 2人	人権擁護委員 7人
	民生児童委員 4人	母子相談員 1人	

相談実績 19件

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	-	-	3	1	3	0	3	4	0	2	1	2

※4月、5月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

〈相談内容事項ごとの解決状況〉

相談内容事項	相談件数	解決内容		
		解決	民生委員	他機関
生計	2			2
生業・職業	1			1
家族	3	1		2
離婚	2			2
医療	1	1		
苦情	2		1	1
その他	8	3		5
合計	19	5	1	13

- ・相談員の研修 コロナ禍のため中止

(2) 受託事業

① ふれあいいきいきサロン事業

今年度はコロナ禍の中での開催について見解が分かれた結果となりました。

開催した地域には、新型コロナへの感染予防に最大限配慮して実施しました。

消毒、換気、3密解消を行い、サロンメニューのなかに健康づくりに役立つ体操や脳トレ、レクリエーションを取り入れ、介護予防に重点を置き活動しました。

- ・開設地区 36地区
- ・実施地区 30地区
- ・未実施地区 6地区
- ・実施回数 142回 (※緊急事態宣言期間中は社協から自粛を要請)
- ・参加者数 2,337人

ア) サロン代表者会議

- ・新型コロナウイルス感染症予防のため中止 (4月、9月、2月)

イ) 合同交流会 (12月開催予定)

- ・新型コロナウイルス感染症の第2波、3波の予防のため5月に中止を決定。

ウ) 各サロンの取り組み

- ・小学生との交流 0地区
- ・野外活動 0地区 (コロナ禍により社協から中止を依頼)
- ・町の出前講座 13回
- ・その他の出前講座 18回
- ・その他の取り組み 23回

② 在宅高齢者等配食サービス事業

調理や買い物が困難な高齢者等に対して、栄養のバランスがとれた食事を提供しました。また、利用者の見守り・安否確認を徹底しました。

配食サービス年間利用食数 (単位:食)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数	53人	56人	58人	53人	55人	53人	
昼食	270	304	314	324	330	328	
夕食	864	875	876	781	754	736	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	58人	58人	55人	50人	47人	51人	647人
昼食	356	338	347	296	278	312	3,797
夕食	815	777	742	641	602	754	9,217
							13,014

③ 敬老館運営事業

家に閉じこもりがちな高齢者が交流を通して健康維持、生きがいをづくりとして集う場を提供しました。利用者が楽しめるイベントを月に1回実施し利用者の増加を促しました。新型コロナウイルス感染予防に十分配慮しながら運営しました。(4月、5月、1月15日から2月28日まで休館)

敬老館年間来館者数 (単位:上段 日 下段 人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
開館日数	0	0	23	24	22	25
利用者数	0	0	340	473	355	431

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
開館日数	27	25	24	9	0	26	205
利用者数	511	501	527	164	0	399	3,701

・ラジオ体操（毎日 14 時 15 分から）

・イベント開催

4月	コロナのため休館	10月	ロコモティブシンドローム予防
5月	コロナのため休館	11月	感染症の予防と対策
6月	大人用紙おむつの勉強会	12月	クリスマス会
7月	健康レクササイズ	1月	15日からコロナのため休館
8月	中止	2月	コロナのため休館
9月	ヤクルト健康講座	3月	ロコモティブシンドローム予防

④ 敬老館食堂事業

敬老館利用者等に安全でおいしい食事を提供し、地産地消にこころがけコスト削減に取り組みました。（4月、5月、1月15日から2月28日まで休み）

食堂年間売上

（単位：円）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
売上額	19,080	42,300	232,240	248,940	246,050	296,770	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間売上額
売上額	337,430	307,090	326,080	126,110	0	281,790	2,463,880

⑤ 放課後児童健全育成事業

小学生を対象に、放課後こどもが帰宅しても就労等のため保護者が不在等の家庭に代わって保育を行いました。

ア) 安全第一での運営を推進するため「安全管理マニュアル」に則した運営に取り組みました。

イ) 統括支援員が随時学童保育に入り支援員との更なる連携強化に努めました。

ウ) 3学童とも最大受入児童数を超えたため、昨年同様にみわっ子 SUN²クラブ、今年度からすくすくクラブに第2学童を開設し対応しました。のびのびクラブは、従事者不足、会場の問題により待機児童が発生しました。

・最大待機児童数 のびのびクラブ 17人

※8月1日に待機児童は解消しました。

エ) 新型コロナウイルス感染症予防に十分配慮しながら運営をしました。

オ) 入所児童数

	みわっ子SUN ² クラブ		のびのびクラブ		すくすくクラブ	
	4月	3月	4月	3月	4月	3月
1年	45	31	32	34	28	19
2年	22	20	32	22	27	19
3年	13	8	15	9	13	7
4年	7	2	1	1	7	6
5年	1	1	1	1	0	0
6年	0	0	0	0	1	1
合計	88	62	81	67	76	52

※夏休みのみの受け入れ
 みわっ子 SUN²クラブ 2人
 のびのびクラブ 1人

カ) 学童連絡会の開催

関係機関との連携と情報共有の場として、こども課、こども未来センター、教育課、各小学校学童担当教諭が参加し実施しました。

	3学童合同	みわっ子 SUN ² クラブ	のびのび クラブ	すくすく クラブ	合計
開催回数	1	2	2	2	7

※4月、5月、1月、2月、3月 コロナ感染拡大防止のため中止

キ) 各研修会の参加

放課後支援員が研修会に参加し、質の向上に努めました。

- ・4回の各種研修会に延べ17名が参加

ク) 保護者会、役員会

新型コロナウイルスの影響で中止

ケ) 安心メールの活用

保護者への情報伝達のため随時活用しました。

- ・新型コロナウイルス感染予防対策について
- ・保育料集金日
- ・台風、大雨、大雪時の学童対応（休所、開所時間変更等）

⑥ 障害者相談支援事業

障がいのある人が自立した生活を営むことができるように、情報提供の便宜や権利擁護のための必要な援助、市町村やサービス事業者との連絡調整を行いました。障害者総合支援法に基づき事業を推進しました。

ア) スムーズな障がい福祉サービスの利用ができるようにサービス等利用計画の作成を行いました。

- ・サービス等利用計画 39件（モニタリングを含む）

イ) 障がい相談窓口を開設し、多様な相談に対応しました。

- ・相談業務 320件

・障がい相談日 毎月第1、第3金曜日に相談日開設 相談件数 10件

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月、5月及び1月15日は中止。

⑦ 障害者支援区分認定調査

障がい福祉サービスの利用を希望する本人の心身の状態や生活状況を聞き取り必要性を調査し、調査票の作成を行いました。

- ・認定調査 148件

⑧ コミュニケーション支援事業

聴覚障がい者が自立した社会生活を営む為の情報を得る手段として手話通訳の派遣を行いました。

利用登録者 12人 手話通訳登録者 7人 要約筆記登録者 15人

- ・利用実績 35件

⑨ 在宅介護者の支援

5月、11月、2月に開催を予定していましたが、コロナ禍のため、中止を決定しました。

⑩ 生活福祉資金貸付事業

県社協の相談窓口として、低所得者、障がい者又は高齢者に対し、経済的自立及び生活意欲の助長を図るための貸付相談を行いました。（新型コロナウイルス感染症の影響で減収し生活費に困っている世帯の特例貸付含む）

- ・相談件数 964件（一般貸付50件・特例貸付914件）

- ・借入申込件数 440件（一般貸付3件・特例貸付437件）

⑪ 日常生活自立支援事業

認知症、知的障がい、精神障がいなどで判断能力が不十分な人に、福祉サービスの利用や日常的な金銭管理の支援を行いました。

・利用者 延べ11人 ・新規契約者 3人 ・解約者 2人

⑫ ボランティアセンター運営事業

地域住民を対象にボランティアの理解と活動の推進を行うように進めていきましたが、コロナ禍によるボランティア活動の自粛や、ボランティア依頼減少など、計画どおりに進めることが難しい状況になりました。

ア) 情報の発信

- ・センターだよりの発行（6月、9月、12月）
- ・ホームページの更新

イ) ボランティア依頼の対応および活動の提供

ボランティア活動依頼数	25件
ボランティア活動マッチング数	24件
ボランティア個人登録者数	41人
ボランティア登録団体数	18団体（209人）

ウ) 児童・青少年事業と連携した福祉教育への取り組み

- ・福祉教育プログラム「知ってる？ボランティアセンターのこと」を作成し、町内全小学校へ提案をしました。
- ・福祉教育プログラム「知ってる？ボランティア活動のこと」を町内全小学校及び生涯学習課主催の「子ども育成塾」で実施しました。
- ・福祉教育プログラム「知ってる？ボランティアセンターのこと」を町内1小学校で実施しました。

エ) ボランティアセンター運営委員会の実施

第1回 コロナ禍のため、書面報告・決議にて対応（4月末）
第2回 11月5日

オ) 各種ボランティア講座の実施

- ・小・中学生のための手話体験講座（コロナ禍で夏休み期間の短縮により中止）
- ・大人のための手話体験講座（受講者：7人） 10月7日～11月25日
- ・聞こえのサポーター講座（受講者：17人） 10月17日
- ・声のボランティア講座（受講者：12人） 10月30日
- ・高齢者生活支援ボランティア講座（受講者：18人） 11月16日～18日
- ・視覚障がい者向けガイドボランティア講座（コロナ禍のため中止）
- ・声のボランティア実践講座（コロナ禍のため中止）

⑬ 生活支援コーディネーター事業

身近な地域での支え合いをより推進するために、今年度から3人体制で活動を行いました。

ア) コロナ禍により各地域で行われている行事が中止され、積極的な活動を行うことが困難でしたが、シニアクラブの各種会合への参加、いきいきサロンや居場所を通じてこれまで培ってきた地域との信頼関係を失うことのないよう推進しました。

イ) 地域ケア会議等に参加し、各種関係機関との連携を密に行い、地域課題の把握に努めました。

ウ) 住民参加型有償生活支援サービス事業を令和3年度実施に向けて取り組みました。

エ) LINE脳若365を通じて、地域の福祉活動者を中心にいきいきサロン情報、居場所情報、ぷら〜り散歩などで情報提供を行い、地域への関心やコロナ禍での健康維持の推進に努めました。また各講座や研修会の実施の案内とその報告等に活用しました。

今後は社会資源を発掘し、情報を随時更新していく予定です。

⑭ シニアクラブ運営補助事業

9月から町より委託を受け、シニアクラブの活性化を図るために事務支援を行いました。

- ・本部役員会、各支部役員会、各支部理事会等への参加

(3) 共同募金配分金事業

A. 高齢者福祉事業

① サロン応援隊の育成 (いきいきサロン)

- ・レクリエーション講習会

9月に予定していましたが、コロナ禍のため中止を決定しました。

- ・毎月定例で勉強会、研修会を実施しました。(9回実施)

② ひとり暮らし高齢者のつどい

6月に実施を予定していましたが、コロナ禍のため中止を決定しました。

③ 敬老の日祝事業

白寿19人と米寿151人に敬老のお祝いを贈呈しました。

④ 金婚お祝い事業

結婚50年を迎えた31組の申請されたご夫婦に、ペアカップを贈呈しました。

⑤ シニアクラブ連合会への配分

シニアクラブ連合会へ助成金の配分を行いました。

⑥ 遺族会への事務支援と配分

遺族会活動の事務を支援し、助成金の配分を行いました。

B. 障がい者福祉事業

① 障がい者のつどい

9月に実施を予定していましたが、コロナ禍のため中止しました。

② 重度障がい者の交流会

4月に実施を予定していましたが、コロナ禍のため中止しました。

③ 福祉用具の貸与 41件

④ 身体障害者福祉協会への活動支援及び配分

自主活動の事務を支援し、助成金の配分を行いました。

⑤ 障がい者小規模作業所への配分

町内3か所の小規模作業所へ助成金の配分を行いました。

C. 児童・青少年福祉事業

① 小学生の福祉教育の推進

各小学校区の地域性、学年に応じた福祉への理解と芽生えを目的に、福祉教育を推進し、全小学校において福祉教育の実施を行いました。

ア) 福祉教育プログラム「知ってる? 赤い羽根共同募金」を町内4小学校の内2校で実施しました。

イ) 福祉教育教材「ともに生きる」を町内全小学校へ配布しました。

ウ) 福祉教育におけるゲストティーチャー(視覚障がい者・ガイドボランティア及び聴覚障がい者・手話通訳者)の対応を行いました。

② 中学生向け福祉体験の実施

町内2中学校が企画する、1年生向けの福祉体験(車いす・視覚障がい体験)に協力、支援しました。

③ 小学校・中学校への配分

町内にある、4小学校、2中学校へ助成金の配分を行いました。

D. その他の福祉事業

① 福祉育成

ア) バス停の管理と老朽化したバス停の補修を行いました。

・補修（台風被害） 2件

イ) レクリエーション用具の貸与 23件

ウ) 福祉教材用具（アイマスク・白杖・点字版等）の貸与 6件

② ボランティア活動

ア) ボランティア連絡協議会支援及び配分

自主活動の事務支援及び助成金の配分を行いました。

イ) 災害ボランティア活動者に対し保険の助成を行いました。 6件

ウ) 地域住民が地域を住みよくするため支え合い活動（ボランティア活動）に
助成を行いました。 3件

3. その他

(1) 社会福祉法人連絡会

① 社会福祉法人連絡会（施設長会）

9月14日（月）DWATについて・情報交換

7事業所・福祉課長

10月16日（金）DWATについて

7事業所・福祉課長・環境防災課2人

※以前からの課題である、こども関係施設との連携

社会福祉法人 すぎのこ会「なずな保育園」の加入

※コロナに感染し、自宅待機を求められた世帯への買物支援活動準備

② サポーター部会

県内の社会福祉法人がネットワークを構築し、「みんなの暮らしを支える」活動として、福岡ライフレスキュー事業を推進しました。筑前町でも、ライフレスキューサポーター研修を終えたサポーターが、生活上の困りごとの解決に向けて取り組みました。

ア) サポーター部会会員人数 12人（令和3年3月31日）

イ) サポーター部会実施回数（定例月1回） 7回

ウ) 支援ケース3件（内拠出金1件41,772円）

エ) 支援回数及び延べ活動人数 25回 53人

オ) リユース品援助 1 件 (小皿、物干しポール、レンジ台、電子レンジ)

カ) 商品の寄贈品受入と活用

●寄付者 (企業)

・セブン-イレブンジャパン

寄贈日: 4 月 30 日 (木) 缶詰 2 箱

・町民からの寄付

寄贈日: 3 月 17 日 (水) 米 20 kg

●活 用

・支援ケース 3 件を中心に利用

キ) 連携機関 県保護課・福祉課・こども未来センター 等

(2) まちづくり出前講座

- ① 介護予防のための軽運動 4 件 (中止 2 件)
- ② レクリエーション用具で遊ぼう! 6 件 (中止 6 件)

(3) 災害に関する事項

- ① 災害時広域相互協定

朝倉地区三社協(朝倉市・筑前町・東峰村)と JCI 朝倉 12 月 12 日(土)